

# 大学等進学率6割を超える

～ 平成22年度学校基本調査速報結果 ～

平成22年度学校基本調査の速報結果が文部科学省から8月に公表されましたので、今号では福岡市の概況を紹介します。

## 1. 学校基本調査の概要

学校基本調査は、学校教育法に規定する学校(脚注)と市町村教育委員会を対象に、学校に関する基本的事項(学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等)を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、昭和23年度から毎年5月1日現在で実施されています。

速報結果では、政令指定都市の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学及び短期大学に関する数値が公表されました。

## 2. 初等中等教育機関の概要

### (1) 幼稚園の概況

#### 園児数が3年連続減少

幼稚園は128園で前年度(平成21年度)と同数ですが、園児数は19,613人で20年度から3年連続で減少しています。年齢別に見ると、3歳児が423人増加したものの、4歳児が214人減少、5歳児が265人減少しています。

教員数は1,300人で5人減少し、教員1人当たり園児数は15.1人となっています。(表1)

### (2) 小学校の概況

#### 児童数、教員数ともに増加

小学校は前年度と同数の150校です。児童数は77,567人で前年度に比べ

表1 幼稚園の概況

区分	園数	園児数						教員数(本務者)			教員1人当たり園児数
		計	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成18年度	129	19 907	10 204	9 703	5 214	7 370	7 323	1 248	83	1 165	16.0
19年度	129	20 161	10 306	9 855	5 427	7 211	7 523	1 292	88	1 204	15.6
20年度	128	20 059	10 245	9 814	5 519	7 248	7 292	1 293	103	1 190	15.5
21年度	128	19 669	10 011	9 658	5 331	7 013	7 325	1 305	102	1 203	15.1
平成22年度	128	19 613	9 909	9 704	5 754	6 799	7 060	1 300	94	1 206	15.1

表2 小学校の概況

区分	学校数	学級数	児童数									教員数(本務者)			教員1人当たり児童数
			計	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	男	女	
平成18年度	148	2 511	76 450	38 950	37 500	12 751	12 847	12 747	12 621	12 614	12 870	3 595	1 322	2 273	21.3
19年度	150	2 561	76 638	39 136	37 502	12 859	12 756	12 901	12 813	12 648	12 661	3 620	1 325	2 295	21.2
20年度	150	2 590	77 215	39 335	37 880	13 168	12 858	12 717	12 951	12 831	12 690	3 657	1 358	2 299	21.1
21年度	150	2 617	77 398	39 476	37 922	12 822	13 168	12 848	12 725	12 994	12 841	3 698	1 375	2 323	20.9
平成22年度	150	2 682	77 567	39 569	37 998	12 833	12 883	13 194	12 856	12 788	13 013	3 823	1 397	2 426	20.3
東区	29	552	16 224	8 268	7 956	2 749	2 726	2 777	2 634	2 614	2 724	771	...	...	21.0
博多区	19	295	8 338	4 319	4 019	1 364	1 467	1 428	1 373	1 408	1 298	439	...	...	19.0
中央区	16	270	7 675	3 608	4 067	1 235	1 257	1 295	1 266	1 292	1 330	405	...	...	19.0
南区	26	467	13 863	7 193	6 670	2 179	2 298	2 372	2 356	2 273	2 385	655	...	...	21.2
城南区	11	227	6 500	3 372	3 128	1 092	1 040	1 135	1 055	1 081	1 097	308	...	...	21.1
早良区	26	450	12 954	6 607	6 347	2 208	2 099	2 168	2 139	2 144	2 196	636	...	...	20.4
西区	23	421	12 013	6 202	5 811	2 006	1 996	2 019	2 033	1 976	1 983	609	...	...	19.7

注) 学校教育法に規定する学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校をいう。

169人増加し、14年度以降9年連続で増加しています。

教員数は3,823人で前年度に比べ125人と大幅に増加し、13年度以降10年連続で増加を続けており、教員1人当たりの児童数は20.3人となっています。

行政区別では、児童数は東区が16,224人で最も多く、城南区が6,500人と最も少なくなっていますが、平成22年5月1日現在の推計人口(以下「推計人口」といいます。)に占める割合では、前年度と同様、西区が6.3%で最も高く、博多区が3.9%で最も低くなっています。(表2.4)

### (3) 中学校の概況

教員1人あたりの生徒数16.7人に

中学校も前年度同数の83校です。

生徒数は39,097人で前年度に比べ132人減少し、18年度以降増加を続けていましたが5年ぶりに減少に転じました。

教員数は2,336人で、前年度に比べ37人増加しており、教員1人当たりの生徒数は16.7人となっています。

行政区別の生徒数では、東区の7,771人が最も多く、城南区の2,969人が最も少なくなっています。また、推計人口に占める割合では、早良区が3.2%で最も高く、次いで中央区、南区、

西区が2.9%となっており、博多区が1.8%で最も低くなっています。(表3.4)

### (4) 高等学校の概況

#### 21年ぶりに生徒数増加

高等学校数は41校で9年度以降同数です。生徒数は42,782人で前年度から138人増加しており、2年度以降減少を続けていた生徒数が21年ぶりに増加しました。

教員数は2,445人で前年度と比べ38人増加しています。

設置者別に生徒数を見ると、公立校の生徒が45.6%となっており、13年度以降上昇を続けています。生徒数全体に占める公立高校生徒数の割合が緩やかに上昇していることが分かります。(表5.図1)

表4 小・中学校の対人口比

区分	推計人口 (H22.5.1 現在)	(人, %)	
		小学生が人口に占める割合	中学生が人口に占める割合
福岡市	1 458 063	5.3	2.7
東区	291 152	5.6	2.7
博多区	211 646	3.9	1.8
中央区	176 262	4.4	2.9
南区	248 680	5.6	2.9
城南区	128 773	5.0	2.3
早良区	211 849	6.1	3.2
西区	189 701	6.3	2.9

表3 中学校の概況

区分	学校数	学級数	(校, 学級, 人)						教員1人当たり生徒数			
			生徒数			教員数(本務者)						
			計	男	女	1年	2年	3年		計	男	女
平成18年度	83 (15)	1 118	38 446	19 228	19 218	12 643	12 885	12 918	2 209	1 288	921	17.4
19年度	83 (15)	1 137	38 787	19 358	19 429	13 241	12 663	12 883	2 273	1 320	953	17.1
20年度	83 (14)	1 150	38 924	19 415	19 509	13 025	13 245	12 654	2 288	1 320	968	17.0
21年度	83 (14)	1 190	39 229	19 692	19 537	12 945	13 007	13 277	2 299	1 320	979	17.1
平成22年度	83 (14)	1 188	39 097	19 602	19 495	13 100	12 967	13 030	2 336	1 349	987	16.7
東区	16 (1)	241	7 771	3 868	3 903	2 584	2 616	2 571	476	...	...	16.3
博多区	11 (2)	118	3 754	2 098	1 656	1 296	1 243	1 215	255	...	...	14.7
中央区	10 (5)	151	5 142	2 377	2 765	1 672	1 724	1 746	291	...	...	17.7
南区	15 (2)	218	7 155	3 541	3 614	2 329	2 392	2 434	412	...	...	17.4
城南区	6 (1)	90	2 969	1 441	1 528	979	1 005	985	176	...	...	16.9
早良区	11 (1)	198	6 829	3 486	3 343	2 347	2 210	2 272	373	...	...	18.3
西区	14 (2)	172	5 477	2 791	2 686	1 893	1 777	1 807	353	...	...	15.5

注) 学校数の( )内は国立または私立の学校数で内数

### 3. 中学校及び高校卒業者の進路

#### 大学等進学率6割を超える

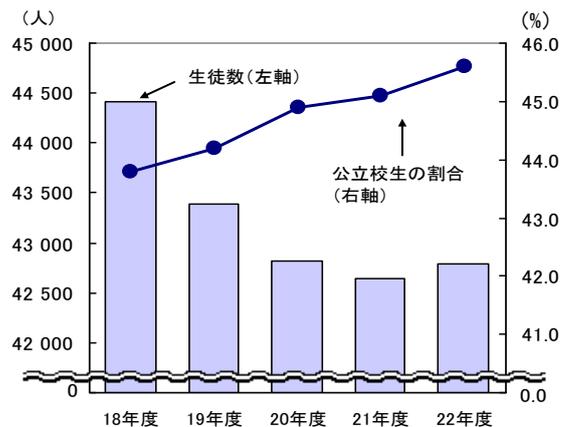
中学校卒業者は13,264人で、前年度と比べ598人増加しており、その進路を見ると96.9%にあたる12,855人が高等学校等へ進学しています。

高等学校の卒業者は13,558人で前年と比べ178人増加しており、うち大学等進学者が8,219人で昨年より345人増加しました。大学進学者の割合は60.6%で、平成17年以降一貫して上昇しています。また、就職者については、一時的な仕事に就いた者（臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者（アルバイト、パート等））を含めると1,526人で卒業者に占める割合は11.3%となっています。（表6.7）

大学院生を含む学生数は72,717人で前年度に比べ746人増加しています。男女別で見ると、男性は45,291人で214人増加し女性は27,426人で532人増加しています。構成比は男性が62.3%、女性が37.7%となり、女性の占める割合は緩やかに上昇を続けています。

大学院生は8,132人で、前年度に比

図1 高校生徒数と公立校生の割合



### 4. 大学及び短期大学の概況

#### 大学院生増加傾向

大学は11校で16年度以降同数です。

表5 高等学校の概況

区分	学校数				生徒数			教員数(本務者)			
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制
						全日制	定時制				
平成18年度	41	39	1	1	44,407	43,047	1,183	177	2,423	2,336	87
19年度	41	39	1	1	43,391	42,045	1,170	176	2,392	2,303	89
20年度	41	39	1	1	42,819	41,486	1,152	181	2,407	2,319	88
21年度	41	39	1	1	42,644	41,312	1,160	172	2,407	2,322	85
平成22年度	41	39	1	1	42,782	41,464	1,164	154	2,445	2,357	88
公立	19	17	1	1	19,494	18,330	1,164	—	1,276	1,188	88
私立	22	22	—	—	23,288	23,134	—	154	1,169	1,169	—

注) 専攻科…高等学校を卒業した者等に対し、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置された科。例：看護科、介護福祉科等

表6 中学校卒業後の進路

区分	総数	高等学校等進学者	専修学校高等課程進学者	専修学校一般課程等入学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他の者	就職進学者、就職入学者(再掲)
平成18年3月卒	12,631	12,162 (96.3)	141 (1.1)	28 (0.2)	7 (0.1)	68 (0.5)	228 (1.8)	3 (0.0)
19年3月卒	12,931	12,472 (96.5)	140 (1.1)	35 (0.3)	10 (0.1)	79 (0.6)	195 (1.5)	1 (0.0)
20年3月卒	12,885	12,390 (96.2)	140 (1.1)	50 (0.4)	11 (0.1)	69 (0.5)	229 (1.8)	4 (0.0)
21年4月卒	12,666	12,258 (96.8)	95 (0.8)	32 (0.3)	6 (0.0)	77 (0.6)	205 (1.6)	7 (0.1)
平成22年3月卒	13,264	12,855 (96.9)	126 (0.9)	29 (0.2)	12 (0.1)	36 (0.3)	212 (1.6)	6 (0.0)

注1) 福岡県公表値。総数は「高等学校等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。「就職進学者、就職入学者」は「高等学校等進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

べ145人増加しており、15年度以降増加を続けています。

設置者別で学生数を見ると、国公立の学生は19,646人で前年度に比べ150人増加し、17年度以降増加を続けています。私立の学生は53,071人で、前年度に比べ596人増加しており、18年度以降減少していましたが増加に転じました。

短期大学は9校で前年度より1校増加し、学生数は4,866人で前年度より186人増加し、6年度以降減少が続いていましたが17年ぶりに増加しています。(表8, 9)

## 5. 大学及び短期大学入学者の出身地 県内入学者の約8割が九州・沖縄地方出身者

福岡県内の大学及び短期大学への入学者を都道府県別出身高校所在地で見ると、入学者30,997人のうち福岡県内の高校からの入学者は17,547人(構成比56.6%)となっています。県外からの入学者を見ると、最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方からの8,564人(同27.6%)で、次いで中国地方からの2,034人(同6.6%)です。それ以外の地方からの入学者は2,852人(同9.2%)となっています。

表7 高等学校卒業後の進路

区分	総数	大学等進学者		専修学校 専門課程 進学者		専修学校 一般課程 等入学者		公共職業能 力開発施設 等入学者		就職者		一時的な 仕事に就 いた者	その他の者	就職進学者, 就職入学者 (再掲)
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
平成18年3月卒	14 510	8 075 (55.7)	2 187 (15.1)	1 442 (9.9)	43 (0.3)	1 556 (10.7)	272 (1.9)	939 (6.5)	4 (0.0)					
19年3月卒	14 340	8 184 (57.1)	1 694 (11.8)	1 583 (11.0)	41 (0.3)	1 637 (11.4)	287 (2.0)	913 (6.4)	4 (0.0)					
20年3月卒	13 979	8 066 (57.7)	1 617 (11.6)	1 785 (12.8)	40 (0.3)	1 613 (11.5)	159 (1.1)	702 (5.0)	3 (0.0)					
21年3月卒	13 380	7 874 (58.8)	1 577 (11.8)	1 459 (10.9)	32 (0.2)	1 475 (11.0)	256 (1.9)	711 (5.3)	4 (0.0)					
平成22年3月卒	13 558	8 219 (60.6)	1 554 (11.5)	1 450 (10.7)	33 (0.2)	1 328 (9.8)	198 (1.5)	779 (5.7)	3 (0.0)					

注1) 福岡県公表値。総数は「大学等進学者」～「その他の者」の合計から重複する「就職進学者、就職入学者」を差し引いた数。

「就職進学者、就職入学者」は「高等学校進学者」～「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者。

2) 構成比は「総数」に対する割合で重複する「就職進学者、就職入学者」を含むため合計が100%を超える。

表8 大学の概況

区分	大学数				学生数						教員数 (本務者)
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立	
平成18年度	11	1	1	9	74 830 (7 697)	47 884 (5 342)	26 946 (2 355)	18 189	893	55 748	4 508
19年度	11	1	1	9	72 439 (7 877)	46 154 (5 503)	26 285 (2 374)	18 403	887	53 149	4 988
20年度	11	1	1	9	71 957 (7 903)	45 605 (5 556)	26 352 (2 347)	18 459	872	52 626	4 926
21年度	11	1	1	9	71 971 (7 987)	45 077 (5 615)	26 894 (2 372)	18 624	872	52 475	4 924
平成22年度	11	1	1	9	72 717 (8 132)	45 291 (5 712)	27 426 (2 420)	18 791	855	53 071	4 935

注1) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、大学本部の所在地による。

2) 「学生数」については、在籍する学部・研究科等の所在地による。

なお、大学学生数には学部のほか大学院、専攻科及び別科の学生並びに聴講生等を含む。

3) ( )内は大学院生数で内数。

表9 短期大学の概況

区分	短期大学数			学生数					教員数 (本務者)
	計	国立	私立	計	男	女	国立	私立	
平成18年度	9	—	9	5 368	600	4 768	—	5 368	280
19年度	9	—	9	5 088	499	4 589	—	5 088	340
20年度	9	—	9	4 804	449	4 355	—	4 804	306
21年度	8	—	8	4 680	453	4 227	—	4 680	265
平成22年度	9	—	9	4 866	528	4 338	—	4 866	281

注) 「学校数」及び「教員数(本務者)」については、短期大学本部の所在地による。

一方、福岡県内の高校から福岡県以外の大学及び短期大学への入学者は、8,366人（構成比32.3%）となっています。入学先で最も多いのは福岡県以外の九州・沖縄地方の2,884人（同11.1%）、次いで関東地方が2,368人（同9.1%）、以下、近畿地方が1,526人（同5.9%）、中国地方が1,092人（同4.2%）と続いています。

流入・流出状況は5,084人の流入超過となっていますが、地方別にみると福岡県以外の九州・沖縄地方が5,680人の流入超過となっている一方で、関東地方は2,172人の流出超過となっています。（表10、図2）

## 6. 大都市の大学及び短期大学 学生の割合は大都市中、第3位

20大都市の大学及び短期大学の概況を比較すると、福岡市の学校数は、昨年度と同様、東京都区部、京都市、

図2 地方別流入超過数

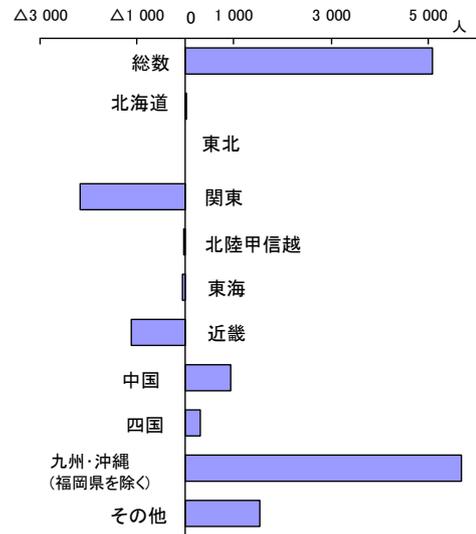


表10 大学及び短期大学入学者の出身高校所在地

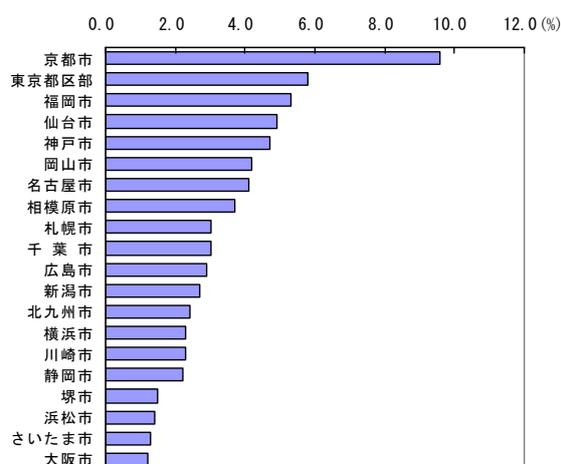
区分	福岡県内の大学・短期大学への入学者		福岡県内高校出身者の入学者		流入超過数
	人数	構成比	人数	構成比	
総数	30,997	(100.0)	25,913	(100.0)	5,084
北海道地方 (北海道)	101	(0.3)	72	(0.3)	29
東北地方 (青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島)	23	(0.1)	37	(0.1)	△14
関東地方 (茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川)	196	(0.6)	2,368	(9.1)	△2,172
北陸甲信越地方 (新潟, 富山, 石川, 福井, 山梨, 長野)	70	(0.2)	95	(0.4)	△25
東海地方 (岐阜, 静岡, 愛知, 三重)	131	(0.4)	186	(0.7)	△55
近畿地方 (滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山)	400	(1.3)	1,526	(5.9)	△1,126
中国地方 (鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口)	2,034	(6.6)	1,092	(4.2)	942
四国地方 (徳島, 香川, 愛媛, 高知)	406	(1.3)	106	(0.4)	300
九州・沖縄地方 (福岡県以外) (佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄)	8,564	(27.6)	2,884	(11.1)	5,680
その他	1,525	(4.9)	—	—	1,525
福岡県内進学	17,547	(56.6)	17,547	(67.7)	—

注) 「その他」とは、「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」、「専修学校高等課程を修了した者」及び「高等学校卒業程度認定試験（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等である。（学校教育法施行規則第150条）

神戸市、名古屋市、札幌市に次いで6番目に多く、学生数は、東京都区部、京都市、名古屋市、横浜市に次いで5番目に多い都市になっています。

各都市の推計人口に占める学生数の割合を見ると、京都市が9.6%（前年9.5%）で最も高く、次いで東京都区部が5.8%（前年同）、福岡市が5.3%（前年同）で第3位となっています。

図3 大都市の人口に占める学生の割合



以下、仙台市の4.9%、神戸市の4.7%と続きますが、福岡市は「学生の多い都市」と言えることが分かります。

(表11、図3)



学校基本調査の公表結果は、下記のホームページでご覧いただけます。なお、12月頃に文部科学省から確報が公表される予定です。

□文部科学省

<http://www.mext.go.jp/>

から統計情報を選択

□福岡県調査統計課（ふくおかデータウェブ）

<http://www.toukei.pref.fukuoka.lg.jp/dataweb/>

からサーチ>3.くらす(県民生活)

を選択

表11 大都市の大学及び短期大学の概況

区分	学校数			学生数			推計人口 (平成22年 5月1日現在)	人口に占める学生 数の割合
	計	大学	短期大学	計	大学	短期大学		
札幌市	22	14	8	56 587	52 921	3 666	1 908 613	3.0
仙台市	13	10	3	50 455	49 417	1 038	1 035 651	4.9
さいたま市	6	4	2	16 209	15 596	613	1 218 431	1.3
千葉市	13	9	4	28 646	27 262	1 384	959 357	3.0
東京都区部	129	93	36	513 144	495 880	17 264	8 839 097	5.8
横浜市	18	12	6	84 628	82 421	2 207	3 679 488	2.3
川崎市	7	4	3	32 600	31 358	1 242	1 417 944	2.3
相模原市	5	3	2	26 652	25 649	1 003	713 885	3.7
新潟市	12	7	5	22 285	20 690	1 595	811 789	2.7
静岡市	7	4	3	15 642	14 289	1 353	716 266	2.2
浜松市	7	6	1	11 296	11 007	289	808 192	1.4
名古屋市	23	16	7	92 238	89 154	3 084	2 258 284	4.1
京都市	37	25	12	140 014	135 237	4 777	1 464 592	9.6
大阪市	19	11	8	32 263	28 045	4 218	2 666 693	1.2
堺市	9	6	3	12 497	11 538	959	838 928	1.5
神戸市	26	21	5	72 319	70 304	2 015	1 538 245	4.7
岡山市	11	8	3	29 348	27 902	1 446	705 145	4.2
広島市	18	13	5	33 474	31 159	2 315	1 172 823	2.9
北九州市	13	9	4	23 204	21 614	1 590	981 462	2.4
福岡市	20	11	9	77 583	72 717	4 866	1 458 063	5.3